

## 祝！金婚式の旅



志村 美和（神奈川県）



〈フルーツパーク富士屋ホテルにて〉

両親の金婚式のお祝いに、父親の実家のある山梨県山梨市に、初めて孫と一緒にの一泊旅行に行きました。昨年より母親の体調が悪く食事制限があり、一番の楽しみである食事に心配がありました。が、「フルーツパーク富士屋ホテル」に事前に食材等の相談をしたら、母親用のスペシャルメニューをご用意頂きまして、大変嬉しかったです。手描きのお品書きも作って頂いて、制限を感じさせず、むしろ優遇という印象の特別なディナーとなりました。

家族写真もお願いしましたら、ぐずる子供を快く待っていてくださりナイスショットを撮って頂きました。

お土産シヨップやフロントスタッフさん達も電話や写真等の手助けも丁寧に対応してくださり、旅行全体が素敵なお出になりました。残念ながら雲が出て富士山を望む事が出来ませんでしたので、再度訪れたいと思っています。JAで果物や野菜を買い込み帰宅後もしばし山梨を満喫しました。

## 富士山ご来光号

K.U. (埼玉県)



〈富士山五合目にて〉



富士山は一日中大きめの雲をかぶっていたので宿の方もご来光は運が良ければという感じ。旅行前に予約してしまっていたから、一か八かの富士山ご来光ツアー。朝というより夜中、バスが各ホテルまで迎えに来てくれご来光の時間にあわせてスバルラインを走り五合目まで連れてってくれる。車窓から途轍もない数の白く大きな星が見える。残暑ということもあって思いの外寒くない五合目にまだ暗いうちに到着。五合園さんで案内の方からとてもわかりやすい富士山の話聞いて教えてもらった「六根清浄」を参加者で声に出しながら見晴台に上がった。鳥が羽ばたき空気が変わるとご来光が始まった。美しい、貴い、言葉にするのが陳腐にさえ感じる程のご来光を見ることができた。感動に浸る私たちに案内の方がさりげなく太陽を凝視しないようにと気遣って声をかけてくれ、その心遣いがまた嬉しかった。ご来光の光を浴び紅く染っていく富士山頂と人の優しさを満喫できた。

## 地元愛



篠原 桃香（山梨県）



〈身延山久遠寺〉

私の友人は、山梨県の身延に住んでいます。夏休みにその友人の家に泊まりに身延へ行きました。私が、観光の勉強をしたいという話をしたとき友人のお母さんがせっかくだからと、私を身延の観光地、久遠寺に連れて行ってくれました。そこで、その友人のお母さんは私に、久遠寺の歴史や、地元の人だからこそわかる知識をたくさん教えてくれました。身延の観光関係のお仕事している人なのかなと思ってしまったり、たくさん話をしてくれました。こうやって一人一人が自分の地元の観光地の知識や歴史、情報をお話してくれることは、おもてなしの心の一つだと私は思いました。

このことから観光には、地域の人の力も必要だと思いました。一人一人が地元のことをたくさん学んで、気軽にその地元の歴史や観光地の紹介が出来るようになると、山梨の素晴らしさがもっと伝わると思うし、山梨県がおもてなし日本一になれるのだと思いました。

## 心あたたまるおもてなし



古屋 成実 (山梨県)



〈ハイランドリゾートホテル&スパ・フロント〉

私は夏休み中、「ハイランドリゾート」というホテルでアルバイトをしていました。将来、ホテルで働きたいと思っている私はこの経験で少しでも多くのことを学びたいと思っていたからです。

お盆の2日目に、外国から来た方が一人で訪れました。外国の方は予約なしで泊まりたいと言いましたがその日は満室でした。私はただただ、「満室だ。」と断わることしかできませんでした。しかし、社員の方が来て、違うホテルを説明し始めました。近くのホテルに電話をして一室空いていないかと問い合わせましたがお盆はどのホテルも満室でなかなか見つかりませんでした。あきらめずに何軒も連絡し、なんとか空室のあるホテルを見つけました。外国の方はとても嬉しそうでした。外国の方は、「こんな親切なホテルにぜひ泊まりたかった。」と残念そうにしていました。断ることしか頭になかった私は、この行動にとても感激し、見習おうと思いました。

## 一歩進んだ心遣い



渡邊 秀明 (山梨県)



〈サンメドウズ清里・リフトから〉

これは私が清里に行った時の話です。清里にサンメドウズという場所があり、家族で行くことになりました。しかし、ナビが付いていない私たちの車では場所が正確に把握できず、道がよく分かりませんでした。そのうちに、こっちだろうと脇道に入ってしまったって完全に道に迷ってしまったのです。付近は森で民家もなく、聞ける人もいません。来た道を戻ろうにも、どのようにして来たかも分からなくなっていました。そんな時、一台の車がこちらに向かってくるのが見え、道を尋ねに走りました。その方達のご夫婦で、近くのペンションを営んでいるそうです。ご夫婦にサンメドウズの場所を尋ねると親切に道を教えてくれるだけでなく、現地まで先導してくれると言います。作業着姿で仕事中にもかかわらず、この心遣いに大変感動しました。「また清里に足を運んでくださいね。」

帰り際の一言です。私がまた来たいと思えたことは、言うまでもありません。

## 挨拶



柳川 真緒（山梨県）



〈セブンイレブン塩山本町店〉

私は、ほぼ毎朝、学校へ行く前に学校近くのコンビニエンスストアで買い物します。よく買い物に行くので、お店の店員さんにも顔を覚えられています。

決まって朝は「おはよう。」と笑顔で挨拶をしてくれます。コンビニエンスストアといえは、アルバイトさんが事務的に「いらっしゃいませ。」と挨拶をするだけのイメージでしたが、この店員さんの自然で、温かい挨拶は、これから始まる一日を頑張ろうという気持ちにしてくれます。

山梨県内や観光地にも数多くコンビニエンスストアがあります。トイレや道案内など、観光客が一番立ち寄る場所が、もしかしたらコンビニエンスストアかも知れません。

このお店のような挨拶をされれば、きっと旅行者も悪い印象は持たないでしょう。買い物をするだけのコンビニエンスストアから、挨拶や道案内などの交流が生まれるような店になっていくって欲しいと思います。

## 駅での出来事



小林 つかさ (山梨県)



〈富士急行線・東桂駅〉

私は就職試験のため富士急行線で富士河口湖駅に向かっていました。富士急行線に乗り慣れていないことと、極度に緊張していたせいで、東桂駅で下車してしまいました。次の電車を調べてみると、次の電車では試験に間に合いません。駅周辺にはタクシーも見あたりません。自分のミスを悔いていると駅員さんが事情を聞いてくれました。そして周辺で仕事をしていた作業員の方に何やら話をしはじめました。駅員さんは、「ほら！あの車に乗りな。」と車を指さしていました。作業員の方に試験会場の最寄駅まで乗せてもらい、無事試験を受けることができたのです。私は送ってくれた方の名前と住所を聞いたのですが、「そんなの大丈夫。今日は運が付いているから、きつとうまくいくよ。」と励ましの言葉と共に、行ってしまいました。心ある人々のリレーによって無事試験を受けることができました。自分も困っている人には手を差し伸べてあげたいと強く感じた経験でした。

## やさしい運転手さん



上野 一紀 (山梨県)



〈JR 小淵沢駅前〉

私は十月十六日に就職試験がありました。その際、小淵沢に行ったときに会社までの道のりが分からず、駅でウロウロとしていました。そうしたら、そんな私を見ていたのか、おじさんが、「なにかお困りですか？」と私に問いかけてくれました。私は会社までの道のことについて悩んでいましたのでその事を伝えました。そうしたら、「会社まで送っていってあげるよ。」と親切に言ってくれました。なんと声をかけてくれたその人は、タクシートの運転手さんでした。そして私は無事、会社まで行くことができて試験を受けることができました。もしもあの時、あの人が声をかけてくれなかったら会社まで行くことができなかったと思いますし、とても感謝しています。その人はタクシーの中でも明るく話かけてくれました。私は試験のことで緊張していましたが、気さくに話かけてくれたその人のおかげで緊張もやわらぎました。



## 募集事業概要

名 称	「やまなしで出逢ったおもてなし体験談」募集事業
主 催	山梨県観光部観光企画・ブランド推進課
募 集 期 間	平成 24 年 6 月 1 日～ 10 月 31 日
募 集 内 容	テーマ「期間中に山梨を旅して出逢った、おもてなしや心温まる出逢い、すてきなエピソードなどの感動体験」を 400 字以内の体験談として募集
規 定	作品並びに写真等の諸権利は主催者に帰属
作品の活用	作品集発行、県ホームページで公開、その他おもてなし推進事業で活用

## やまなしで出逢った おもてなし体験談 作品集

平成 25 年 3 月 21 日発行

発 行 山梨県観光部観光企画・ブランド推進課  
〒400-8501 甲府市丸の内 1-6-1  
TEL 055-223-1556 FAX 055-223-1574  
印刷・製本 東洋レーベル(株)



おもてなし  
日本一へ!